

# 民話を語ろう

6年生	11月15日(水)	11月21日(火)	12月2日(土)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民話を語る活動を通して、気持ちが伝わるような表現方法や聞き手を意識した話し方を学ぶことができる。</li> <li>・民話の文化に触れたり、楽しさを味わったりすることができる。</li> </ul>		

## 授業の流れ

日時	活動内容
11月15日(水) 3・4校時	<p>1 「下野民話の会」から2人の講師を招き、代表で有岡光枝先生から民話の歴史や特徴について話していただく。</p> <p>○ 民話との出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民話には、昔話、伝説、世間話創作がある。</li> <li>・民話は人から聞いたように語る。</li> <li>・～だと、～だってなど文末に特徴がある。</li> <li>・語るときには、目と目を合わせる。顔を見る。</li> <li>・語ることは、相手を思いやること</li> </ul> <p>2 2人の先生に、一話ずつ民話を話していただく。</p> <p>3 自分がやりたい民話を決める。</p> <p>4 2つのグループに分かれ、担当者に自己紹介をする。</p> <p>5 各グループごとに担当者のから、原稿を読み合わせたり話の覚え方を教えていただいたりする。</p>
11月21日(火) 3・4校時	<p>6 2つのグループに分かれて、語りの練習をする。 (孝子桜・黄ぶなのいわれ・天狗の投げ石・さる地蔵・サルとカニの伊勢参り)</p> <p>○ 話の覚え方のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 書いてある本のおりに覚える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素読み(何回も読む)</li> <li>・ 2行～3行ずつ覚える。</li> </ul> </li> <li>② あらすじを覚えて、自分の語りに再話して覚える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつ どこで 誰が なにを どうした それから</li> </ul> </li> <li>③ 場面を絵にして覚える。</li> </ol> <p>7 グループごとに語りの練習をする。 (今年度は、一日公開で全員発表を視野に入れ、一人ずつ一つの物語を発表する形式をとった。)</p>



1 2月2日(土)  
3・4校時  
(学校一日公開日)

- 8 語りの発表会を開く。  
・はじめに発声練習をする。  
・語りの発表会  
全員が一つの民話を覚え、発表する。



- 9 一人一人が感想を発表する。



- 10 下野民話の会の模範の語りを聴く。



下野民話の会の方から教えていただいたことを胸に、しっかりとした発表ができた。保護者の方からも「落ち着いて語っており、何も見ずによく覚えられていたなど」称賛の言葉をいただいた。

#### 【授業を終えて】

- ・1グループ4～5名に対して1名の指導者が付くという、児童にとっては恵まれた環境で「語り」を学ぶことができた。
- ・指導者と児童が十分なやりとりをしながら話を覚えたり表現を工夫したりしていた。子供たちも語りの学習をとっても楽しんでた。
- ・発表会では、全員が昔話を誦んじて語ることができ、下野民話の会の先生方からもお褒めの言葉をいただいた。
- ・学校の会話科全体集会では下級生に、また、古賀志の孝子桜まつりでは来場者の前で「語り」を行う予定となっている。